

報
幸

Kansai Harmonica Federation



第124号

ハーモニカ渡来100周年記念特集

第3集

- † 国際ハーモニカ フェスティバル'95ジャパン概要・・・(1)
- † 来日するプレイヤーの横顔・・・(7)
- † 国際ハーモニカ フェスティバル '95 IN KANSAI・・・(16)
- † 楽しきかな わがハーモニカ人生 酒井 涼爾・・・(17)
- † *How To Enjoy Ensemble* (15) ・(21)
- † 10月はハーモニカコンサートがめじろ押し・・・(25)
- † MDは便利・・・(27)

ハーモニカ渡来100周年記念



入場料 当日2,500円
前売2,000円

HARMONICA HARMONICA CONCERT

ハーモニカコンサート



ビート・ビーダスン
(アメリカの作曲家、編曲者
ジャズハーモニカ奏者)

とき 95年10月15日(日曜日)
午後5時0分開場
午後5時30分開演 7時30分終了予定
ところ 大阪市北区中之島1丁目1-27
大阪中央公会堂
電話 06-231-0631



徳永 延生
(プロ・ジャズ
ハーモニカ奏者)



和谷 泰扶
(89年
世界チャンピオン
ドイツ在住、
京都 出身
伴奏 和谷麻里子)



小林 忠夫
(プロ
ハーモニカ奏者)



吉森 正隆
(91年
複音ハーモニカ
世界チャンピオン)

チケットのお求め 新井 075-361-3982
内容に関するお問い合わせ 吉村 0722-51-9398
仲村 06-624-5606

京都
ハーモニカ
カルテット
(93年ハーモニカ
世界チャンピオン)
北尾、田中、
新井、和谷



ハーモニカ渡来100周年記念

同日同じ会場で
午前10時0分より午後4時まで
ハーモニカ連盟会員による演奏会
入場料は無料

主催 関西ハーモニカ連盟
後援 大阪市、大阪府、日本ハーモニカ推進協議会、全日本ハーモニカ連盟、日本ハーモニカ芸術協会、ハーモニカ振興会
協賛 (株)モリダイヤ楽器、(株)トノボ楽器製作所、鈴木楽器販売(株)、(株)河合楽器製作所、三木楽器(株)、(株)ソハマ楽器、梅田ナカイ楽器(株)、
JEU-GIAコミュニケーションフォーラム、朝日カルチャーセンター、NHK文化センター

ハーモニカ渡来100周年 記念特集

NO. 1

国際ハーモニカフェスティバル'95ジャパン 概要

横浜ハーモニカ祭 '95

横浜ランドマークタワー

1995年10月

7日 (土)
8日 (日)
9日 (月)
10日 (火・祝)
11日 (水)
12日 (木)
13日 (金)



ワールドハーモニカチャンピオンシップス
ガラコンサート・スペシャルコンサート
ワークショップ・オープンステージ

パシフィコ横浜会議センター

パシフィコ大ホール	
<ul style="list-style-type: none"> 全国大会の後のハーモニカコンサート (10:00~) ガラコンサート (10:00~) 	<ul style="list-style-type: none"> パシフィコ大ホール (18:00~)
パシフィコ会議センター	
<ul style="list-style-type: none"> ワールドハーモニカチャンピオンシップス 閉会コンサート (18:00~) 	<ul style="list-style-type: none"> ガラコンサート (19:00~)
<ul style="list-style-type: none"> ワークショップ 演習・フリープレイによる特別演奏 (10:00~) 	<ul style="list-style-type: none"> パシフィコ大ホール (14:00~) ガラコンサート (19:00~)
<ul style="list-style-type: none"> オープンステージ 交歓演奏・交流広場 など 以上毎日開催 	<ul style="list-style-type: none"> パシフィコ大ホール、パシフィコ会議センター、パシフィコ大ホール、パシフィコ会議センターほかの来場が予定されています。

ランドマークホール

<ul style="list-style-type: none"> 国内外へアーティストの日本コンサート ハーモニカ直販、販売店、展示スペース 	<ul style="list-style-type: none"> ハーモニカ博物館 (常設展・特別公開) ハーモニカ今昔展 実物・ポスター・絵ハガキなどの展示、聴覚
<ul style="list-style-type: none"> 国内外へアーティストの日本コンサート ハーモニカ直販、販売店、展示スペース 	<ul style="list-style-type: none"> ハーモニカ関連グッズの展示、販売
<ul style="list-style-type: none"> 国内外へアーティストの日本コンサート ハーモニカ直販、販売店、展示スペース 	<ul style="list-style-type: none"> ハーモニカ博物館 (常設展・特別公開) ハーモニカ今昔展 実物・ポスター・絵ハガキなどの展示、聴覚

1Fフェスティバルスクエア

<ul style="list-style-type: none"> 国内外へアーティストの日本コンサート ハーモニカ直販、販売店、展示スペース 	<ul style="list-style-type: none"> ハーモニカ博物館 (常設展・特別公開) ハーモニカ今昔展 実物・ポスター・絵ハガキなどの展示、聴覚
<ul style="list-style-type: none"> 国内外へアーティストの日本コンサート ハーモニカ直販、販売店、展示スペース 	<ul style="list-style-type: none"> ハーモニカ関連グッズの展示、販売
<ul style="list-style-type: none"> 国内外へアーティストの日本コンサート ハーモニカ直販、販売店、展示スペース 	<ul style="list-style-type: none"> ハーモニカ博物館 (常設展・特別公開) ハーモニカ今昔展 実物・ポスター・絵ハガキなどの展示、聴覚

1Fガーデンスクエア

<ul style="list-style-type: none"> 国内外へアーティストの日本コンサート ハーモニカ直販、販売店、展示スペース 	<ul style="list-style-type: none"> ハーモニカ博物館 (常設展・特別公開) ハーモニカ今昔展 実物・ポスター・絵ハガキなどの展示、聴覚
<ul style="list-style-type: none"> 国内外へアーティストの日本コンサート ハーモニカ直販、販売店、展示スペース 	<ul style="list-style-type: none"> ハーモニカ関連グッズの展示、販売
<ul style="list-style-type: none"> 国内外へアーティストの日本コンサート ハーモニカ直販、販売店、展示スペース 	<ul style="list-style-type: none"> ハーモニカ博物館 (常設展・特別公開) ハーモニカ今昔展 実物・ポスター・絵ハガキなどの展示、聴覚

イベントの内容、日程は変更されることがあります。

ハーモニカ関係のみよげんへ

国際ハーモニカ・フェスティバル '95 ジャパン

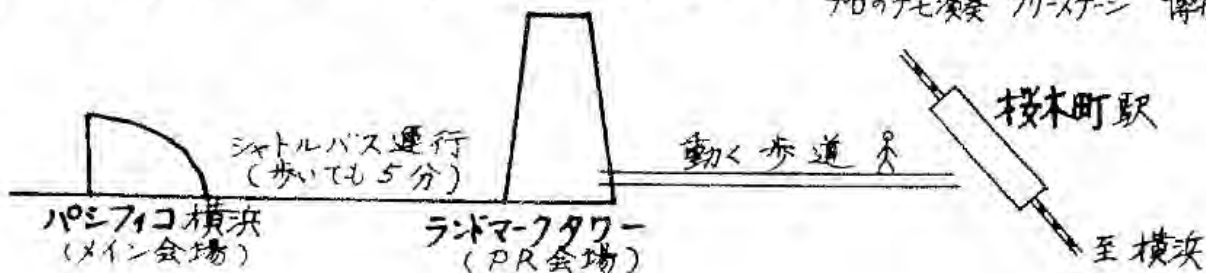
10/10(土) ~ 10/13(金) ヨコハマ

お問い合わせ先:

会場は 2か所です

「パシフィコ横浜」……メイン会場です。コンテスト ガラコンサート フリーステージ
オープンステージ 交流広場 売店 など

「ランドマークタワー」……一般通行客(毎日5万人)を PR会場です。
メイン会場へ誘致を進める プロのデモ演奏 フリーステージ ハーモニカ博物館 など



参加費用は？

入場料は 1日 2,000円です。(フェスティバルの入場券です) 1枚で 2会場共入れます。

国内外のトップ奏者のミニコンサート、全国から集まるハーモニカ仲間や交歓演奏、ワールドデビューを記念するコンテスト、ハーモニカ博物館や今昔展、グッズの展示や即売、世界各国の人々との交流広場などなど、楽しいいっぱいフェスティバルです。

次のイベントは 別料金です。

- 世界一流の奏者による **ガラコンサート** と **複音スペシャルコンサート**
(10/10, 11, 12 日 各 5,000円) (10/12 日 3,000円)
- トップ奏者による **特別講習会** (ワークショップ)
(複音、70マチック、10穴、アンソールなど 毎日行われます。各 2,000円)

◎ おすすめ! 4日間通し券 16,000円。

ハーモニカ関係者のみへの限定発売です。数に限りがありますのでお早め!
この通し券で、毎日の入場からガラコンサート、スペシャルコンサートまで
4日間すべての催いものに自由に参加・入場できます。

(4日間通し券)

① 例えば、もし4日間毎日各催し物すべてに参加し、その都度料金を支払った場合。

入場料	2000円 × 4日 = 8000円	} 計 30000円 (通し券なら 約半額です)
ガラコンサート	5000円 × 3回 = 15000円	
スペシャルコンサート	3000円 × 1回 = 3000円	
特別講習会 (仮に2回参加したとして)	2000円 × 2回 = 4000円	

② もし、10/11、12の2日間のみ まるまる参加した場合でも。

入場料	2000円 × 2日 = 4000円	} 計 19000円 (この場合でも 通し券のほうがお得です)
ガラコンサート	5000円 × 2回 = 10000円	
スペシャルコンサート	3000円 × 1回 = 3000円	
特別講習会 (1回参加したとして)	= 2000円	

◎ ご自分の参加日程に合わせて通し券にするか、各券を別々に購入するか 次の表に記入して検討して下さい。
(別紙「フェスティバル日程(料金)表」を参考に。)

日程	料 金	自分の参加予定
10/10(火)	入場料 2000円 ガラコンサート 5000円	円 円
10/11(水)	入場料 2000円 特別講習会 (7-7ショーアップ) 2000円 ガラコンサート 5000円	円 円(回) 円
10/12(木)	入場料 2000円 特別講習会 2000円 複音スペシャルコンサート 3000円 ガラコンサート 5000円	円 円(回) 円 円
10/13(金)	入場料 2000円 特別講習会 2000円	円 円(回)
合 計		円

- 合計金額が16,000円を超えた場合は、通し券(16,000円)を購入したほうがお得です。
- 16,000円以下ならそれぞれ必要な券を購入したほうがよい。

◎ コンテスト 《ワールドハーモカ・チャンピオンシップス》参加者は、

(1人当) 参加費 20,000 円です。(複音ソロ、70マフ、クソロ、10尺ソロ、
デュオ、トリオ、アサフルなど 16部門)

コンテスト参加者は、4日間すべての催しものに自由に参加・入場でき
ます。

～全国各地のみなさんや 海外からお越しのみなさんの前で演奏・交流を深めよう～

あなた方のグループも 国際大会のこの舞台にどうぞ!

1,000人収容の『全国みんなの街のハーモカ・コンサート 10/10④』
メインホールでの

参加費(1人当) …… ^{フェスティバル} 入場券2枚(自分の分も含めて) 4,000円と
出場負担金 1,000円

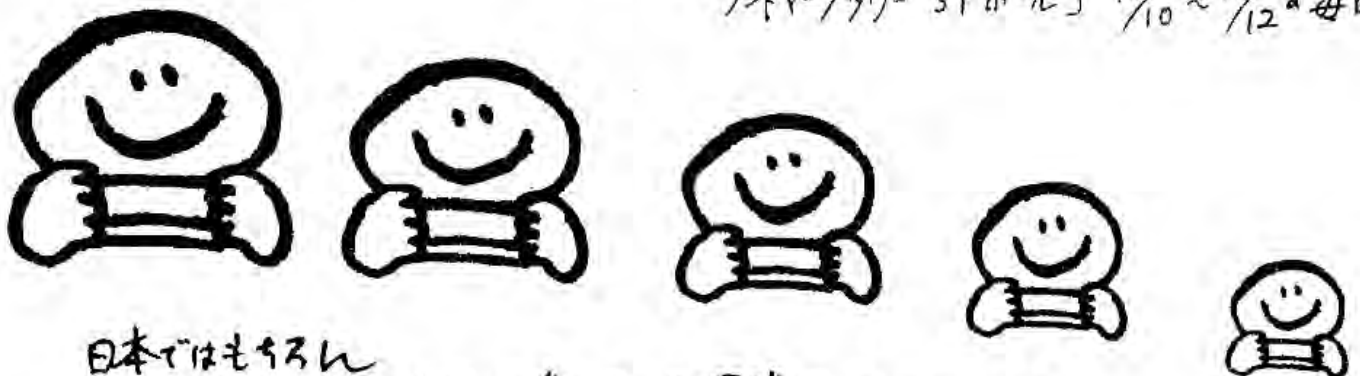
計(1人当負担金) 5,000円

(注) 通券(16,000円)を購入した人は、その通券の中に
自分の入場料が入っていますから、入場券1枚と
出場負担金1,000円の計3,000円を負担すれば
よいこととなります。

申込先 …… 関東ハーモカ連盟事務局 〆切 7/31
申込用紙が来ておりますので 出場希望グループはご連絡下さい
(岩崎、大矢)

フェスティバル入場者なら
誰でも自由に演奏できる 『オープンマイク(フリーステージ)』

参加無料・毎日申込制 「パシフィック横浜 3Fラウンジ」 10/10～10/13 毎日
「ラボマーケット 5Fホール」 10/10～10/12 毎日



日本ではもちろん
アジアでも初めての「ハーモカ国際フェスティバル」
さんなどで参加しましょう!

ホテル
宿泊

希望の方は至急予約して下さい
JTB 全国営業所で受付中

会場近くのホテルが JTB (日本交通公社) により確保されていますが至急
シングル 6,800 円 ~ 21,000 円 予約が重要です。
ツイン 13,000 円 ~ 26,000 円 といろいろあります。

JTB 横浜営業所 (担当: 脇田・村田) へ電話で問い合わせると
TEL 045-664-2760 よいてしよう。

岩崎・平井・大矢は予約済です。

入場券
通し券

の購入予定数をお知らせ下さい
一括とりよせます

0462-21-5930 (大矢)

0462-24-3469 (岩崎)

グループ、個人、家族、知人等 おおよその数で結構です。
あとで変更になってもかまいません

7月末までにお知らせ下さい。



—— 横浜「みなとみらい21」からハーモニカの新時代が始る ——

<p>毎日共通 10/10 ~ 10/13</p>	<p>ほとんど毎日 2会場で行われているもの ・ 誰でも参加のオープンステージ ・ ハーモニカ博物館 ・ トップアーティストのミニコンサート ・グッズの展示・即売 など (右スタイバル 2会場共通 入場券 ¥2,000-)</p>
<p>10/10 ⊗</p>	<p>10:00 ~ 16:00 全国みんなの街のハーモニカコンサート (合演コンサート) 会場無料 10:00 ~ オープンマイクのフリーステージ (2会場スタート) ^{以下} _{あり} 会場無料 18:00 ~ 21:00 ガラコンサート "これがフィル・スピアの心だ" 10代世界一流者達 ¥5,000.-</p>
<p>10/11 (水)</p>	<p>10:00 ~ コンテスト 開始 (複音 70マフ、7.10尺、デュオ、トリオ) 会場無料 10:00 ~ 17:30 ワークショップ (特別講習会) 複音 70マフ、7.10尺、アポカリ 各 ¥2,000.- 19:00 ~ 22:00 ガラコンサート "7リングの魅力" ... ^{現金に手を出さないのラリー・アドラー} _{世界のアドラー・トリオ、有名手多数} ¥5,000.-</p>
<p>10/12 (木)</p>	<p>10:00 ~ コンテスト (複音 70マフ、7.10尺、フル・アポカリ) 会場無料 10:00 ~ 17:30 ワークショップ (特別講習会) 複音 70マフ、7.10尺、アポカリ 各 ¥2,000.- 14:00 ~ 16:00 スペシャルコンサート "美しい ^{トレモロ} 複音ハーモニカの祭典" ¥3,000.- 岩崎重昭、森本孝夫、大石昌美、有林寿孝、厚木トリア ... 日本代表的演奏者 & 韓国、中国、マレーシアなど 東洋各国の名手の競演 19:00 ~ 22:00 ガラコンサート "ジャズ・ポピュラーの真髄" ... 枯葉、セシオン、グリスビーのブルース、ピート・ヘンダーソン、70年代・カチン、リー・スカーなど 世界の名手 ¥5,000.-</p>
<p>10/13 (金)</p>	<p>10:00 ~ コンテスト 最終日 (複音(中備) 70マフ、7.10尺、フル・7°) 会場無料 10:00 ~ 15:00 ワークショップ 最終日 ... 世界の名手に何は肩い、なま上手に紹介 ¥2,000.- オープンマイク (フリーステージ) ... 今日で最後だ! 吹きまくっちゃおう! 会場無料 フェアウェルパーティ (さよならパーティ) コンテストの入賞者発表と授賞式、優勝者の演奏 など 会場無料</p>

以上「全日本ハーモニカ連盟事務局通信」より転載

あのラリー・アドラーも来日
来日プレイヤーぞくぞく

吉村 則次

国際ハーモニカフェスティバルの楽しみの一つは、普通では到底お目にかかることも聴くこともできない海外からのプレイヤーに、じかに会って話をしたり、サインをもらったり、演奏を聴いたり、セミナーに出たりすることができることでしょう。

8月10日現在、確定している海外からのプレイヤーを紹介してみたいと思う。

クラシック

ラリー・アドラー

今回の来日プレイヤーの日玉であり、一番日本人に馴染みと知名度がある人であろう。説明を要しない。

年齢は80を越えており、当然今回のプレイヤーの中では日本人を含め高齢者である。（参加者の中にはこれを越える人が当然いるだろう。）

昭和20年代に初めて来日。大阪の松竹座でも演奏しているので、50才以上のかたには、思い出のあるかたも多いと思う。

その後も東京にはちょいちょい来ているが、大阪には来なかった。

わたくしごととなるが、私はこの人の松竹座での演奏を聴いてクロマチックをやろうと決心した。

この人の音色は好き好きである。息の使い方、手や指の使い方その他あらゆる方法を使って、いろいろな音色を出す。ここまでやる必要があるのかという感じさえする。あのときは凄いと思ったが、今ではもっとストレートな音でもいいのではないかと思う。

また、楽譜どおりにやることは少なく、クラシックでもポピュラー音楽になっている。

しかし、『ハーモニカの歴史』であり、私のクロマチックの恩人であることは、確か。

ガーシュインを得意としているので、今回もガーシュインを2-3曲は必

ず聴くことになろう。

写真で見るとするどい目つきをしているが、最近は年をとったので、穏やかな、おもしろいおっちゃんになっている。怖いことはない。



ハーモニック



ハーモニック

差子

チェン・バー・ファン

わたくしごととなるが、この人も私のクロマチックの恩人である。

昭和30年代の後半から40年代の前半にかけて2回、私はニューヨークに勤務したが、そのときクロマチックを個人レッスンで習ったのがこの人である。(ハーモニカ・トッデイの第5号ご参照) 70才。

政治的理由で、昭和20年代に中国の上海から逃げ出してアメリカに住みついた中国系アメリカ人で、漢字では「黄 青白」と書く。色の漢字を名前にしている人は少なく、高貴な家の出だと本人は言っているが、どうだか不明。

移民としてアメリカに渡って、ハーモニカで生計をたてたというのは凄い。上海時代から凄いものがあったものと思う。

アメリカに渡ってハーモニカの世界で活躍した。ニューヨークのタートルベイ・ミュージック・スクールという音楽学校でハーモニカ教室を持った。このハーモニカ教室は、音楽学校に設けられた最初のハーモニカ教室であるといわれている。わたくしごととはあるが、私はここの生徒であった。クラシックを専門としており、バッハを得意とする。今回もバッハの何曲かを聴くことになろう。

個人レッスンでは、ヘンデルやテレマンやバッハで苦勞させられたが、このときのハーモニカで演奏したクラシック音楽の基礎が今の私には良かったと思っている。

ラリー・アドラーと違って、一つの音も省略せずにまじめに吹く。

ハーモニカがはなやかなりし時は、アメリカのあちこちでリサイタルを開いていたが、最近ではハーモニカの製造販売に力を入れている。ファン・ハーモニカというブランドで自分のお国の中国で製造して世界中に売っている。

一時日本でもクロマチックとテンホールを見かけたが、このごろでは見ない。私が個人輸入している彼の「コーデット 20」は人気が出てきそうな気配がする。

自分でも工作設備を持っており、自分で設計して、よりいいハーモニカを作ろうと努力している。彼の考案したCBHモデルという黒いプラスチックカバーのホーナーのクロマチックは人気があったが、ホーナーとチェンバーとのごちゃごちゃがあったためホーナーも製造を中止してしまったし、自分でも生産できなくなったのは残念である。

しかし彼自身は今回もCBHモデルを使うはずである。音色に注目しよう。アメリカで今一番活躍しているハーモニカ奏者ロバート・ボンフィリオは彼の教え子である。

シグモンド・グローブ

ノルウェイのテレマーク生まれ、トミー・ライリーの教え子で、従って演奏方法も音もトミー・ライリーに似ている。ノルウェイでCDを出しているという関係で、多く出しているにもかかわらず、なかなか日本では手に入らず、従って日本での知名度は低い。

私は昨年秋、東京のWAVEで偶然見付けたもの(Siestaというものを)を1枚持っているだけである。

今回、WHFにおいては、彼は自分のCDを持って来るだろうから、手に入れる絶好のチャンスである。

トロシゲンでのコンテストで優勝して世に出て来た人で、作曲もするし、トミー・ライリーのマネージャーもしているようである。

1990年には、あのカーネギー・ホールでリサイタルもしている。

彼自身の作曲も今回は聞ける。崎元譲氏とのデュオも予定されている。

まだお会いしたこともないが、楽しみな人である。

ポピュラー・ジャズ

ピート・ビーダスン

この人は日本にはというよりも、世界的に知られるべきであるのに知られていない人であった。

あれだけの才能があるのに世に出なかったのは、常にハーモニカの裏または横の世界で活躍しソロで活躍しなかったからである。

裏の世界というと、危ない世界ではなく、作曲、編曲の世界であり、横の世界とは、ソロではなく、サイドメンとして他の人を活躍させるために働いていたということである。

具体的にいうと、あのジェリー・ムラッドの曲の殆どは、この人のアレンジだといわれている。またテレビコマーシャルの作成という面でも活躍して



いる。ジェリー・ムラッドのハーモニキャッツのメンバーをしていたこともある。

『パリのアメリカ人』をホーナーのレコードに吹き込んで、我々にも知られることとなった。また91年のデトロイトでの世界ハーモニカチャンピオ

ンシップのあのむずかしい課題曲「ある女性の肖像」を作曲したことで有名になった。

今回は横浜のみでなく、別表のとおり大阪、枚方、和歌山など9回も演奏会を開く。今回来日するプレーヤーのうち最も忙しい、最も活躍するプレーヤーである。

あちこちの演奏会に出れば「パリ」も「ある女性」も聴くことができるかも知れない。中之島の大阪市中央公会堂（10月15日）では時間的に長い曲は無理、ASA-COMホールや枚方市では可能性がある。

— 去年の93年が初来日かと思っていたら、終戦後ジェリー・ムラッドらと日本に演奏に来ている。したがって今回は3回目ということになる。

年齢は言わないが、70才ぐらいと思われる。

ええおっちゃんである。ケンタッキー・フライド・チキンのあのおじさんに似ている。

彼の作曲の代表的な曲「ある女性の肖像」の原題名 Pictures of a Woman の a Woman は Many Women の間違いではないのかと聞いたら、いや a Woman だという。

それは誰かと聞くと、数年前に亡くなった奥さんのことだという。

気易い人だからといっても、この質問は二度としないようにしよう。

わたくしごとになるが、昨年森本恵夫さんとともにメンフィスでキャット・フィッシュ（ミシシッピ川にいる「なまず」みたいな魚）のごちそうになり、また帽子を買ってくれた。

クロード・ガーデン

この人は、最初に日本で出たLPがクラシックの小品ばかりだったのでクラシック奏者と考えておられる人も多いが、私は絶対にジャズの部門に入れたい。もちろんクラシックでも素晴らしいが。

今回もクラシックではなく、12日のジャズのガラ・コンサートでピート・ビーダスンや徳永延生氏、リー・オスカーと一緒にジャズを演奏する。彼のグリスビーは、ラリー・アドラーのグリスビーとともに有名である。

日本人が彼を好きなのか、彼が日本を好きなのか、毎年日本に来て演奏をしている。大阪に来ることは少ない。

数年前に横浜のジャズ・ライブハウスで演奏したとき、この人はジャズの人だと思った。凄い。

よく練習する。あれだけの人であるのに、毎日他人から隔離して数時間練習をするそうである。見習うべきである。

年齢、家族、国籍などわからないことが多い。

フランスの人といわれているから、会ったら「メルシッ」と言おう。



クロード ガーティエ

テンホールズ

レイフル・ニール
ビリー・ブランチ
リー・オスカー
ジム・マクラフリン

テンホールズについては、私は残念ながら詳しく知らない。

したがって書く資格がない。

服装からして、われわれとは異種の人間のように見える。

このうちで私が知っているのは、リー・オスカーだけである。ロック・グループ「ウォー」の一員であったことがあり、ウォーと一緒に日本に来たとき厚生年金会館に聞きに行ったが、やかましくてたまらなかった。また単独でも日本によく来ており、梅田のパナナホールでお会いしたことがある。

17-8年前、日本でもリー・オスカーのLPが次々に出たことがあり、彼の演奏が資生堂のコマーシャルに使われたりして、有名になった。

テンホールズであっても彼のはブルースではない。したがって、ガラ・コンサートではテンホールズの部のみでなく、12日のジャズのガラコンサートにも出る。やわらかい甘い奇麗な音を出す。

モジャモジャの頭をしているが、恐くはない。

自分の名前が入ったテンホールズのハーモニカをトンボで作らせて世界中に売っており、そのハーモニカは、評価が高い。

ビリー・ブランチは、最近CDのタイトルで見た。

しかし、ハワード・リービー、チャーリー・マコイ、チャーリー・マッセルホワイト、シュガー・ブルー、ミッキー・ラファエル、キャリー・ベル、ジャン・ジャック・ミルトー、ジェイムス・コットンはどこへ行ったのだろうか。



リー・イスカー

トリオとアンサンブル

アドラー・トリオ

ハーモニカ音楽はアンサンブルにあり、と私は思っている。海外の数多くのアンサンブルを聴くと非常に楽しい。羨ましい。飽きることがない。

アドラー・トリオがとうとうやって来る。

イスラエルの人である。ラリー・アドラーとは全く関係がない。(ちなみにジェリー・アドラーはラリー・アドラーの兄弟である)

トリオの中心になっているコード奏者がドロール・アドラーという名前なので、アドラートリオとなっているだけ。日本で言えば渡辺トリオとか、田中トリオというような軽い感じが。

ここのクロマチックの人はカッコがいい。ピアスまでしている。女性の人気になること間違いなし。バス奏者は面白い。見るのも聴くのも楽しいトリオである。

レパートリーは「時の踊り」とか「トリッチ・トラッチ・ポルカ」のような軽いクラシックを得意としている。



ハーモニカ・スインガーズ

日本ではそうではなかったが、クラシック奏者を除きハーモニカ奏者は外国では一面ボードビルショー、コミックショーであった。

演奏だけではなく、そこに、落語、漫才、道化師、ピエロ、手品の要素を取り入れていた。ボラ・ミネビッチがそうであった。ジェリー・ムラッドもそれに近かった。ビート・ビーグスンも人を笑わせることでは天下一品である。（しかし日本ではそうは行かない。）

このハーモニカ・スインガーズは、今もなおその伝統を守っている唯一のグループではないだろうか。フランスからやって来る。

ピエロ姿で出て来て、ハーモニカを吹きながら道化をする。いや道化をしながらハーモニカを吹く。どちらでもいい。日本のチンドン屋に近い。

ただしチンドン屋と違って、シンセサイザーをコードハーモニカに取り付けて使う。

言葉は英語かフランス語を使うだろう。我々には分からない。したがってどれだけ面白さが分かるか分からない。

その他のプレーヤー

外国人だけでなく、我々関西の誇り、和谷泰扶も招待されてドイツから来て参加する。横浜へ行く前に、大阪市西区のイシハラホールで、10月8日（日）午後3時にリサイタルを開く。

大阪の誇り、というより日本の誇り、ジャズの徳永延生も12日のガラ・コンサートで、ピート・ピーダスンやガーデンと一緒に演奏する。当初予定されていたトゥーツ・シールマンスが来なくなっただけは残念だが、ピーダスン、ガーデン、オスカーと日本の徳永延生が同じステージで演奏するという事は、考えただけでもぞくぞくする。

和谷泰扶、徳永延生兩名とも、中之島の大阪市中央公会堂に出ることは当然である。

招待されて来るプレーヤーだけがプレーヤーではない。自分で金を払って来るプレーヤーも多い。

おなじみの北京のフー・チア・イー（何 家義）、マレーシアのチャン（張）それに日本では初めてか韓国のボン・リー（李 惠峯）等も来る様子である。

関西ハーモニカ連盟が台湾へ行ったときお世話になった台北口琴隊の人も多く来るようである。

これに日本の有名なプレーヤーは、全員出る。文字どおり全員である。なんと素晴らしいことではないか。

これらの人が聞ける時間は次のとおり。

テンホールズ	10日午後6時
クラシック	11日午後7時
複音	12日午後2時
ジャズ・ポピュラー	12日午後7時

しかし、これだけではない。相撲さんが時間前に立ち上がるように、プログラムに関係なく、ロビーやフリーステージやあちこちで、プロ、アマ関係なく自発的に演奏が始まる。吹かなければ損だ。

いつもハーモニカを持って歩こう。

以上

ハーモニカ渡来100周年 記念特集

NO. 3

国際ハーモニカフェスティバル '95 IN KANSAI

既報の通り、ハーモニカ渡来100周年記念演奏会が10月15日(日曜日) 関西のハーモニカ野郎にとって思い出深い「大阪市中央公会堂」で開催される。大阪市、大阪府の後援も得られ、諸準備も着々と進められている。

プログラムの内容も決定した。なんとこれまでにない56のソロおよびアンサンブルが参加する。アンサンブルも最高の20グループで、子供から大人まで非常に多彩なものとなっている。また、初の試みとして前号で紹介した「同志社大学ハーモニカソサイエティ」及び阪神大震災の傷も癒えぬであろう「関西学院大学ハーモニカソサイエティ」も堂々参加する事が決定している。

第2部では関西に一度来て親交を深めた事のあるビート・ビーダスン、徳永延生、和名泰扶、小林忠夫、吉森正隆の諸氏、及び京都ハーモニカ・カルテットが出演、円熟したテクニックを披露してくれる。特にビート・ビーダスンと徳永延生先生のジャズの競演は大いに期待するところである。

この関西における渡来100年記念行事が大成功に終わるよう、われわれ連盟員一同団結して当たらねばならない。

以下に10月15日の予定を示す。

午前 9時30分：役員集合

10時00分：開場

10時05分：第1部開演(入場無料)

連盟員による演奏

最後に同志社大学ハーモニカソサイエティ及び関西学院大学ハーモニカソサイエティによる演奏。

午後 4時30分：第1部終了予定

全員一旦退出、場内整理等

午後 5時00分：第2部開場(入場券必要、前売り2,000円、当日売り2,500円)

午後 5時30分：第2部開演

終了後役員による片づけ。

上記のように役員の方には多大のご協力が必要になります。別途実行委員から役割分担をお願いする事となりますので、よろしくお願い致します。

楽しきかな、わがハーモニカ人生

酒 井 涼 爾

第十一話

ハーモニカの音色が分かる 中国兵はやはり同じ人間だった

戦場とハーモニカ

連載しているこの物語の大部分は、その舞台が軍隊であり戦場である。私達70才以上の年代の諸兄は、多くが同様の体験をし、その頃のハーモニカに強烈な思いがあるはずである。それは人間味を失った戦場の極限の生活では一本のハーモニカが、珠玉のように尊く大きい役割があったからで、あらゆる音楽と楽器が溢れている平和な現代しか知らない人には、およそ当時のハーモニカの価値は想像もつかないであろう。

高田の連隊から中国に出征した私は、当時まだ一介の兵士に過ぎず、許可を得てG、G#、GMなど愛用のハーモニカ六本と、小さい手書きの楽譜数十曲を背囊に入れたが、その重量は肩に食い込み、戦場の私を苦しめた。

その六本のハーモニカは、激しい戦闘の合間に兵隊を慰め、警備中の宣撫に中国人に喜ばれ、野戦病院を慰問するなど武器ならぬ活躍をした。やがて六本のハーモニカは、戦死した戦友の手に握られて焼かれたり、山の小学校に寄贈したり、中国官憲に終戦時に掠奪されたり、親しくなった中国軍幹部に引き揚げる乗船時に進呈したりして、すべて中国大陸の土にかえってしまった。

私が戦場で七年間書き続け、今も保存されている従軍日誌を繕きながら、ハーモニカにまつわる思い出話をもうしばらく続けたい。

村にやってきた中国兵

さて舞台は前号に引き続いて、昭和15年晩秋の中国湖北省の平原にある南河渡の村である。私達の中隊は、南河渡の南方30平キロの沔陽付近にある重慶軍第128師に対峙しながらも平穏な駐留をしていたが、軍は敵の冬季攻勢の出鼻をくじくことになり、北方地区への作戦が発動され、中隊も参加することになった。そのため指揮班情報宣撫担当の私と10名足らずの病弱兵が残留することになった。夜から作戦行動に出発する中隊に替わって、夕方一個連(一個中隊、200名ほど)の中国軍が警備にやって来た。

これは南京を首都とする汪精衛の国民政府に属する黄衛軍(李軍長)第1師の

中隊で、元来重慶側正規軍を帰順させ、漢口地区警備司令官井上少将の指導の下に編成されたものであった。

この黄衛軍の中国兵は、私達が今まで持っていた中国兵のイメージを大きく変えた。前の瑞昌地区の戦闘でチラチラ望見した中国兵も、高粱畑の中で不期遭遇戦となり血みどろの格闘をした中国兵も、夏であったせいか身軽で猿のようであった。捕虜にした中国兵の中には瘦せた老兵もおれば、小柄な孩子兵(少年兵)もいた。そして一様に薄汚れ、痴呆のような顔をしていた。服装も垢で汚れた薄黄色い荒木綿の軍服に半ズボンも混じり、ちびれた軍帽を横かぶりし、ワラジや不揃いの支那靴を履き、まるで乞食集団である。こんな貧弱な中国兵に戦友達がやられ、血を流したのでは仏も浮かばれいと、情けなく思うことが度々あったのである。

しかし黄衛軍はさすがに精鋭な元重慶軍の正規軍だけあって、年齢も20才代、30才代の青壮年であり、血色もよく逞しかった。服装も冬であるせいか鉛色の綿の入った軍服で一回り大きく見えた。同じ色の軍帽には白い白口章が目立った。ゲートルも同色で黒い支那靴を履いていた。長目の袖も上衣も弾帯をつけると案外引緊って見えた。中国兵のイキな流行なのか、ゲートルを足首のところを太目に巻き、膝頭のあたりまで巻き上げていて、私達の目から見るとまるで丸太ん棒のようであった。動作もキビキビしていて、とにかく精鋭そうな中国兵である。その彼らは屈託ない顔で仲間同士で冗談を言ったり、ふざけ合っているのは、日本兵にない無邪気なものであった。

私は彼らの指揮官である連長(中隊長)に

『連長、還有日本軍隊留在此地。不必担心。

至部隊營為止、就由你們担任警戒此地。

万一敵人攻來時、你們就給我好好地守着。全權交付給你了。』

(連長。日本軍も残っているから心配はいらないが、

本隊の帰るまでは、君達だけで警備し、

万一敵がせめて来たら、君達の力だけ

で守り抜いてくれ給え。しっかり頼む』

と彼らの自主性と面子を尊重して言うと、背の高い若い中隊長は姿勢を正して、

『是!! 這是新政府的黃衛軍頭威最佳時機。

請您放心、必不負命!!』

(はい!! これは新政府の黄衛軍が力を見せるチャンスです。安心して下さい。



必ず責任を果たします。)

と胸を張って頼もしく答えるのであった。

日本軍が自分達を信用し、責任を持たせてくれた喜びからか、彼の顔は輝やいでいた。そして部下を整列させ

『向翻訳官、敬礼!!』(通訳官殿に対し、敬礼ッ)

と号令をかけた。中国兵達は私に対して一斉に、手首を“へ”の字に曲げた変な敬礼をしたのであった。

まだ一介の幹候生に過ぎず、通訳官でもない私は、二百人の中国兵に敬礼されたことが面映ゆく、そしてチョッピリ嬉しくもなり、日本軍の直線式の敬礼を返したのであった。

これがきっかけで、私と中国兵はすっかり打ち解け、冗談を言い、爆笑し、時ならぬ日中兵士の親善風景をくりひろげるのであったが、私はフト、これがかって激しい戦火を交えた敵味方なのであるかと疑った。そこにあるのは、国境を超えた同じ東洋人同士の親愛の情であった。

ハーモニカを聴いてくれた中国兵

夜になると、村の周辺をとりまく古い小さい城壁や土塀に配置された警戒兵のほかは、彼らの假りの兵舎となった民家に集まった。見廻りの合間に立ち寄った私を見ると、彼らは歎息をあげて談笑の輪に迎え入れ、つまんでいた落花生をすゝめるのであった。いろいろ故郷の話もでた。きけばその出身地は湖北から河南や、遠く山東まで広いが、ほとんどが「農村では食えないから」と答えた。それだけに頑健であるが素朴な兵士たちであった。

私はハーモニカを取り出してきた。それは大敵を前にして、ゆとりをみせる故事を真似た殊勝なものでなく、何となく吹きたくなっただけのことである。兵士達は初めてハーモニカを見、初めてその音をきくのか、薄暗い燈芯の明りの中で、数十の好奇の目が輝いていた。

西洋名曲も日本演歌も音痴の彼らにはあまり反応はなかったが、静かな童謡の「更けゆく秋の空」や「荒城の月」は心に通ずるものがあってか『好聴々々』(ハオテン、ハオテン、うまいうまい)と叫び拍手が湧き起こった。日本兵士と同じように故郷を偲ぶメロディが心に滲みたのであろう。

私はハーモニカが吹けて、苦勞して持ち歩いたことがよかったと、しみじみ思う時でもあった。

しかし実際はそんな気楽な日々ではなかった。僅か30キロ南に布陣する敵第

128師8千人が、我軍の北方作戦の間隙を狙って攻撃してくれば、10名足らずの日本兵と一個中隊の新中国軍では、この南河渡は数時間で占領されるであろう。万一新中国軍兵が寝がえれば、私達は玉砕するほかはあるまい。そう考えると不安も大きく、昼は密偵を敵地に走らせて敵状をさぐらせ、夜は陣地見廻りなどで私は一睡もできなかった。

作戦を終えて中隊も一週間ほどで帰って来た時は、正に蘇生の思いであった。中隊長は「留守中はご苦勞であった。よくやってくれた。」と一言の労いの言葉はあったが、ハーモニカを吹いたことは絶対に言えなかった。

しかし中国兵達はハーモニカで心豊かに任務を果たしたに違いないと自分勝手に秘かに自我自讃するのであった。

警備の任を果たした新中国軍の一個中隊は、足取りも軽く南河渡の地を離れて去った。彼らの歌う歌「東亜民族進行曲」の

「大地湧起和平的呼声、地動了万里大進行

東亜民族連合起来、互尊独立共同防共」

と合唱しながら、大きく腕を振りながら遠ざかって行くグレイ色の隊列を東門の丘から小さくなるまで見送った私は、ホーッと大きい息をつくのであった。それから五年で蔣戦となり、十年後には中共政權となったが、この中国軍たちにどんな運命があったかは知る由もない。しかし彼らの脳裏には、南河渡で聴いたハーモニカの音色をいつまでも覚えていたのではあるまいか。

それから約半生紀を経た1989年秋、私は単身この南河渡の村を訪れた。今は南河鎮と言う町になっていた。街並も少し変わって石畳の通りは舗道となり、近代的な新しい家も数戸あって、50年の時の流れを感じたが、白い壁、黒い瓦屋根の家々は今もそのまゝで当時をまざまざと偲ぶことができた。眼を閉じると、あの陽気な中国兵達の顔や声が彷彿として浮んでくるのであった。



ピアノ伴奏付きの独唱および合唱用の譜面から、ハーモニカアンサンブルの楽譜を作ります。

まず、前奏ですが、はじめの4小節は高、中音部でオクターブのユニゾン、後半4小節で中音はカウンターハーモニーを入れます。左手のリズムは低音と中音が担当することは言うまでもありません。

moderato

高	C 3 - <u>2 1 3 2</u>	1 $\dot{1}$ 6 $\dot{1}$	5 - 3 1	2 - . 0
中	C 3 - <u>2 1 3 2</u>	1 $\dot{1}$ 6 $\dot{1}$	5 - 3 1	2 - . 0
和	C 0 C / /	0 F / /	0 C / /	0 G ₇ / /
低	C 1 - . 0	1 - . 0	1 - . 0	5 _. - . 0
	3 - <u>2 1 3 2</u>	1 $\dot{1}$ 6 $\dot{1}$	5 <u>3 1 2</u> 2	1 - . 0
	5 - <u>4 3 5 4</u>	3 5 4 6	3 <u>5 3 4</u> 4	3 - . 0
	0 C / /	0	0 C 0 G ₇	0 C / 0
	1 - . 0	1 - 4 -	5 - 5 _. -	1 - . 0

A から唄に入りますが、はじめの8小節は高音部のみで中音は休みとして、Bから先の同じ旋律の繰り返しに対しカウンターを入れて変化をつけるようにします。

A

:	3 - <u>2 1 3 2</u>	1 $\dot{1}$ 6 $\dot{1}$.	5 - 3 . 1	2 - . 0
:	0 - - -	0 - - -	0 - - -	0 - - -
:	0 C / /	0 F / /	0 C / /	0 G ₇ / /
:	1 - . 0	1 - . 0	1 - . 0	5 _. - . 0

3 - 2 1 3 2	1 $\dot{1}$ 6 $\dot{1}$.	5 3 1 2 2	1 - . 0
0 - - -	0 - - -	0 - - -	0 - - -
0 C / /	0 C 0 F	0 C 0 G ₇	0 C / /
1 - . 0	1 - 4 -	5 - 5 -	1 - . 0

B

3 - 2 1 3 2	1 $\dot{1}$ 6 $\dot{1}$.	5 - 3 1	2 - . 0
3 - - -	4 - - -	3 - 5 3	4 - . 0
0 C / /	0 F / /	0 C / /	0 G ₇ / /
1 - . 0	1 - 0 .	1 - . 0	5 - . 0

3 - 3 1 3 2	1 $\dot{1}$ 6 $\dot{1}$.	5 3 1 2 2	1 - . 0
3 - - -	3 - 4 -	3 - 4 4	3 - . 0
0 C / /	0 C 0 F	0 C 0 G ₇	0 C / /
1 - . 0	1 - 4 -	5 - 5 -	1 - . 0

C Mixed Chorus

All de world am sad and drear-y, Eb-ry where I roam; Oh darke-ys how my heart grows wear-y,
 ち ち さ す ら い な げ き つ つ わ が こ こ ろ わ び し や

All de world am sad and drear-y, Eb-ry where I roam; Hm
 ち ち さ す ら い な げ き つ つ - び

C からは混成合唱になっていますが、メロディはソプラノパートから採り、中音部は二段目のアルトか三段目のテナーから動きの良い方、ハーモニーのバランスの良い方を選んで付けます。

C

7 · 1̣ 2̣ 5	5 · 6̣ 5̣ 1̣	1̣ 6 4 6	5 - · 0
4 · 4 4 4	3 · *2 3 5	6 4 1 2	3 - 4 2
0 G ₇ / /	0 C / /	0 F / /	0 C 0 G ₇
5 - · 0	1 - · 0	4 - · 0	1 - 5 -
3 - 2 1 3 2	1 1̣ 6 1̣	5 3 1 2 2	1 - · 0 :
5 - - -	^b 7 - 6 *5	^b 5 5 3 4 4	3 - · 0 :
0 C / /	0 C ₇ 0 F _m	0 C 0 G ₇	0 C / 0 :
1 - · 0	1 - 4 -	5 - 5 -	1 - · 0 :

Far from de old folks at home.
い え を は な - れ

Far from de old folks at home. ———
い え を は な - れ ———

The image shows a musical score for the song "Far from de old folks at home." It consists of five staves. The first two staves are vocal lines with lyrics in English and Japanese. The third staff is a vocal line with a long dash indicating a continuation. The fourth and fifth staves are piano accompaniment, with the fifth staff being a grand staff (treble and bass clefs).

後奏 **D** は前奏の後半で使ったカウンターをつけて終わらせます。

3 - 2 1 3 2	1 $\dot{1}$ 6 $\dot{1}$	5 3 1 2 2	1 - . 0
5 - 4 3 5 4	3 5 4 6	3 5 3 4 4	3 - . 0
0 C / /	0 C 0 F	0 C 0 G \flat	0 C / 0
1 - . 0	1 - 4 -	5 - 5 -	1 - . 0

10月はハーモニカコンサートがめじろ押し

関西ハーモニカポップス 第20回 定期演奏会

9月23日(秋分の日) 午後2時から 地下鉄淀屋橋下車 大阪朝日生命ホールにて
入場券 1,500円 連絡先 吉森まで 0725-43-8720

松田幸一ライブ

10月3日 火曜日 午後7時30分 京都 ラグ 入場料 3,914円(前売り:
3,399円) 連絡先 ラグ インターナショナル 075-712-5838

松田幸一ライブ

10月4日 水曜日 午後7時30分から 大阪梅田 パナナホールにて
入場券 3,500円 (前売り 3,000円) 連絡先パナナホール 06-612-6821

和谷泰扶 (わたにやすお) ハーモニカリサイタル

10月8日 日曜日 午後3時から 大阪地下鉄肥後橋 イシハラホールにて
入場券 4,000円 連絡先 イシハラホール 06-444-5875

ビート・ピーダスン コンサート

10月9日 月曜日 午後6時30分から 大阪中之島朝日新聞ビル1階 ASA-COM ホール 入場料 無料 連絡先 ASA-COM ホール06-201-8033

ハーモニカ渡来100周年記念 コンサート (主催 関西ハーモニカ連盟)

10月15日 日曜日 第1部 午前10時05分から 入場無料
第2部 午後5時30分から 入場券 2,500円 (前売り 2,000円)
大阪中之島 大阪市中央公会堂にて 連絡先 吉村まで 0722-51-9398

ビート・ピーダスン ライブ

10月16日 月曜日 午後7時から 和歌山市北の新天地 ライブハウス オールドタイムにて 連絡先 松本まで 0734-28-1950

ビート・ピーダスン リサイタル

10月17日 火曜日 午後7時から 枚方市牧野公民館 入場料 1,000円
連絡先 牧野公民館 0720-51-2566

ビート・ピーダスン リサイタル

10月18日 水曜日 午後7時から 枚方市津田公民館 入場料 1,000円
連絡先 津田公民館 0720-59-6600

ビート・ピーダスン ライブ

10月19日 木曜日 午後8時から 奈良県櫻井市 ザ・セーリング・バー
連絡先 藤田まで 07444-6-2330

京都ハーモニカカルテット

10月21日 土曜日 午後7時から 京都 青山音楽記念館 入場料 2,000円
連絡先 パロックザール 075-393-0011

徳永延生 ハーモニカコンサート

10月30日 日曜日 午後7時から 大阪市天王寺区上本町 大阪国際センター
入場料 2,100円 連絡先 おかあさんチョット編集室 06-764-4538

消したり切ったりつないだり MD (ミニディスク) は便利

吉村 則次

最近、据え置き型のMDを買いました。

MDが出た当初は、CDをMDにコピーして聞くなんてナンセンス、CDのまま聞けばいい、また録音するならDATの方が音が良く、裏返しせずに長く録音できる、と思っていましたが、次の点でMDが私達ハーモニカ愛好者に非常に便利だということがわかりましたので、決心して買ってみました。買ってよかったと思っています。

どのようなものかご紹介したいと思います。

1、すぐ消せること

自分の演奏を録音したいというときがあります。

カセットテープの場合は、何回も録音してそのうちの一番いいものを探して再び別のテープへコピーし残します(この場合、コピーの繰り返しによる音の劣化が起こります)。

MDの場合は、だめだったらすぐ消していいものだけを残すことができます。またMDの場合は、消したらその消した跡は空白になるのではなく、すぐ前に詰まり、ディスクの終わりの部分に余白ができます。

2、切ったりつないだり

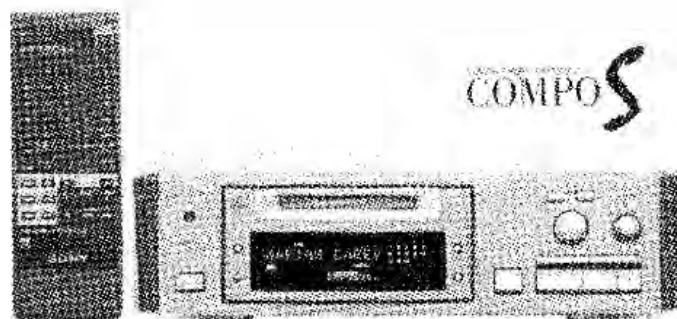
カラオケで演奏する場合、伴奏が長すぎる場合があります。たとえば歌謡曲の場合、3コーラスまであったり。

この場合1コーラス短くし、2コーラスにする必要があります。

これにはMDが最適です。

即ち1個の歌を1-2-3と3つに印を付けて区分し、2を消して1と3を連結することができます。

カセットテープでは、これは非常にむずかしいことですが、MDの場合比較的易しく行えます。



ミニディスクデッキ

3、順序を変えてプレイしたり繰り返したり

これはCDとまったく同じで、自分で演奏したものでも順序を変えて演奏することができます。

カラオケで、MDに「春の小川」「茶摘み」「われは海の子」「小さい秋」「スキー」の5曲のピアノ伴奏が入れてあったとします。

例えば今冬なので、「スキー」から始め、時間の関係もあるので、「春の」と「小さい」と続け、3曲で終わりたいと思ったとします。テープでは、この順序で録音のしなおしをしなければなりません。MDなら録音はもとのままにしたままで、このような順序で演奏することができます。(CDと同じ要領です)録音の順序を入れ替えてしまうことさえできます。

4、同じところを繰り返す

テープ伴奏で練習するとき、伴奏のある同じところ、たとえば難しいフレーズ、を繰り返し、練習したいときがあります。

テープデッキでも高級なものは「A-B機能」といってこの機能を持っているものがありますが、テープが戻るのに時間がかかります。

MDの場合は、瞬間に希望のところに戻り繰り返します。

5、音質はデジタルで劣化なし

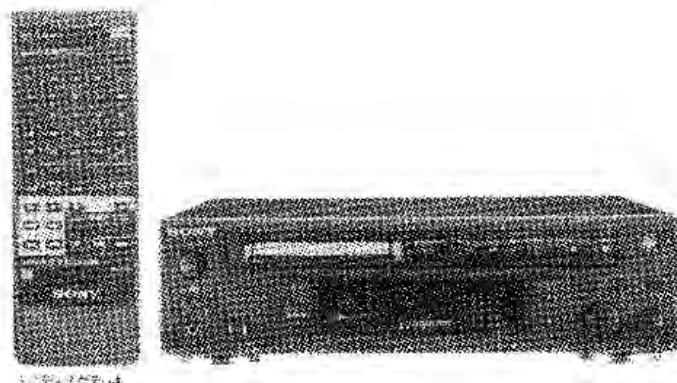
テープで何回も録音を繰り返していると、音質がだんだん悪くなります。

またテープデッキのスピードが正確でないと、ピッチが狂います。またテープの場合は、テープの質にむらがあると音が震えたりします。

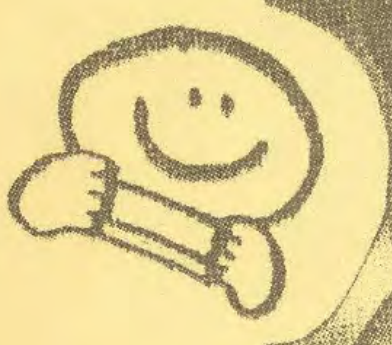
MDはデジタルなので、音質の劣化、ピッチの狂いはありません。

(私が買ったのはソニーのMSD S30で5万円以下で買えました。消したり切ったりつないだりするためには、ポータブルより据え置き型の方がいいようです。MDの難点はディスクがまだ高いことで、60分のもので1000円以上します。)

以上



ミニディスクプレイヤー



入会されました

高槻市
堺市
京都市
吹田市
京都市

横山 賢一氏
横浜 孝行氏
黒田 吉郎氏
野呂 芳子氏
中居 隆博氏

お悔やみ申し上げます

前田 長男氏
吉村 秀男氏

関西ハ一モニカ連盟
平成7年9月15日発行
第124号

発行責任者 理事長 仲村 眞

〒545 大阪市阿倍野区三明町2-6-10

発行者 事務局長 新井 善久

〒600 京都市下京区花屋町通西洞院東入る563

編集局 後藤 貞男

〒596 岸和田市春木旭町36-17